

松江
キャンパス

女子ラクロス部



学生主導のチーム運営！ 勢いのある女子ラクロスチーム

ラクロスは、オリンピック競技種目の候補にあがっているほど、近年特に注目されているカレッジスポーツです。私たちは「学生主導」をテーマとして専任コーチをおかず、全て自分たちでチームを運営しています。部員全員が試合で活躍できるようなチームを目指して、1人1人が主体的に練習に取り組んでいます。次の夏のリーグに向けて一層強くなれるよう、全員で日々試行錯誤しながら活動しています。

Shimadai's Circle

しまだい CLUB & CIRCLE INFORMATION

各キャンパスでそれぞれの特色を生かして活動する島大生。運動系や文化系はもちろん、大学を飛び出して活動する団体もあり、活躍の幅は様々です。そんな各団体について、実際の活動内容を交えて紹介します。

出雲
キャンパス

医学部水泳部



初心者から経験者まで楽しく練習 西医体で男女共に総合3位入賞

水泳部の特徴は、大学で始めた初心者から大会で成績を残すほどの経験者までいることです。健康維持やタイムの向上、技術の穴進などそれぞれが様々な目標を持って活動しています。練習メニューも自分たちで考えるため成果が出た時の喜びは大きいです。タイム計測をするマネージャーも部には欠かせない存在です。西医体(※)では大学対抗で入賞もできました。今後も大会などで部員それぞれが成果を出せるよう頑張っていきたいと思えます。

※西日本医科学学生総合体育大会

出雲
キャンパス

医学部 ガーデニングクラブ



大地に生命を育む活動を通して 第一次産業を担う人材を育成

近年日本では、少子高齢化が進むにつれて、日本経済の根幹である第一次産業の従事者は減少傾向にあります。私たちの主な活動は、花卉(鑑賞用の植物)栽培です。活動を通して、自分たちの手で大地を開拓する重要性を理解し、花卉栽培の喜びを享受できる人材の育成を目指しています。本部活の卒業生が将来、医療だけでなく第一次産業の分野でも輝くことを願っています。

私たちが
学生広報サポーターです！



本学の広報活動をサポートする学生広報サポーター。令和3年度は、松江キャンパスの5学部すべてから学生が加入し、総勢17名体制で活動しています。様々なことに興味や関心のあるメンバーが揃いました。学生による取材記事は、大学ホームページのほか公式TwitterやFacebookで随時公開しています。

Instagramアカウント

「学生広報サポーター」が、島大生のキャンパスライフなどを紹介しています！



大学祭「凧風祭 繋 connect」 の裏側に潜入！



10月9日と10日の2日間、島根大学大学祭「凧風祭 繋 connect」がオンラインで開催されました。10日にYouTubeライブで生パフォーマンスを披露した「松江よさこい連國美輝」と「弾き語りサークル スナフキン」を直撃取材したほか、実行委員長の釘本蓮さんにも当日を迎えた心境を伺ってきました。

配信当日、実行委員会の方々はぎりぎりまで裏方スタッフや出演者と打ち合わせをして、少しでもトラブルを減らそうと奮闘されていました。パフォーマンスをされた方々も、実行委員の方々の熱い想いに応えるように、全力でパフォーマンスをされていました。その熱気はこちらにもひしひしと伝わってきて、彼らの本気度を感じました。

インタビュー全編は
こちらからご覧ください



学生 広報サポーター

レポート



島根大学では、学生の視点や発想を生かしながら、ボランティアで広報活動を行う「学生広報サポーター」制度を設けています。学生広報サポーターの記事の一部を紹介します。

キャリアデザイン プログラム生が 堀川遊覧船と企画



堀川遊覧船の学生割引および、SNS投稿での割引キャンペーンが、10月6日から31日までの期間限定で行われました。島根大学キャリアデザインプログラムの大学生集客プロジェクトで、名越千夏さん(生物資源科学部1年)、高木理莉乃さん・坪倉茜さん(法文学部1年)、西野有美さん・橋本初花さん(人間科学部1年)の5名が企画しました。『大学生の間だけ島根で過ごすという学生にも、松江の魅力を説明できるほど知ってほしい』という堀川遊覧船の方と共通の思いを持っていました。クルーズ中、橋下を通過する際に屋根が下がることもあり、「洞窟のようで楽しい」、「他の大学生にも体験してほしい」と語ってくれました。船頭さんのお話も、人や回によって異なるそうで、何回乗っても楽しめるようです。

